



令和7年6月定例会

大館市議会会議録 (第3号)

自 令和7年6月2日 開会
至 令和7年6月19日 閉会

大 館 市 議 会

6月2日（月曜日）

第1日目

令和7年6月2日（月曜日）

議事日程第1号

令和7年6月2日（月曜日）

○表彰状伝達（全国市議会議長会）

開 会 午前10時05分

議長報告（文書）

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 議案の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案の上程

1. 報 第2号 令和6年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書
2. 報 第3号 令和6年度大館市都市計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書
3. 報 第4号 令和6年度大館市水道事業会計予算繰越計算書
4. 報 第5号 令和6年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書
5. 報 第6号 一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について
6. 報 第7号 株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出について
7. 報 第8号 放棄した債権の報告について
8. 議案第63号 大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
9. 議案第64号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
10. 議案第65号 大館市軽費老人ホームに関する条例の一部を改正する条例案
11. 議案第66号 大館市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案

12. 議案第 67 号 大館市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
13. 議案第 68 号 大館市水道給水条例の一部を改正する条例案
14. 議案第 69 号 大館市小規模水道等給水条例の一部を改正する条例案
15. 議案第 70 号 財産の取得について（車両A VMシステム 一式）
16. 議案第 71 号 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車 1台、高度救命処置用資機材 一式）
17. 議案第 72 号 財産の取得について（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台）
18. 議案第 73 号 市道路線の認定について（有浦区画17号線外1路線）
19. 議案第 74 号 令和7年度大館市一般会計補正予算（第1号）案
20. 議案第 75 号 令和7年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案
21. 議案第 76 号 令和7年度大館市介護保険特別会計補正予算（第1号）案
22. 議案第 77 号 令和7年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第1号）案
23. 議案第 78 号 令和7年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案
24. 議案第 79 号 令和7年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案
25. 報 第 9 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償について）
26. 報 第 10 号 専決処分の報告について（調停の成立について）

出席議員（25名）

1番	吉田 勇一郎	2番	菅原 喜博	3番	田中 耕太郎
4番	花岡 有一	5番	藤原 明	6番	伊藤 毅
7番	秋元 貞一	8番	佐々木 公司	9番	武田 晋
10番	今泉 まき子	11番	伊藤 深雪	12番	小畑 新一
13番	佐藤 和幸	14番	金谷 真弓	15番	明石 宏康
16番	柳館 晃	18番	田村 儀光	19番	石垣 博隆
20番	伊藤 励	21番	工藤 賢一	22番	花田 強
23番	岩本 裕司	24番	相馬 エミ子	25番	吉原 正
26番	佐藤 芳忠				

欠席議員（1名）

17番 田村 秀雄

説明のため出席した者

市	長	石 田 健 佑	副 市 長	北 林 武 彦
理	事	日 景 浩 樹	総 務 部 長	伊 藤 良 晋
総 務 課 長		佐々木 みゆき	財 政 課 長	石 戸 谷 議 親
市 民 部 長		阿 部 精 範	福 祉 部 長	川 田 博 之
産 業 部 長		大 森 泰 彦	観 光 交 流 ス ポ ー ツ 部 長	小 八 木 歩
建 設 部 長		本 多 利 明	会 計 管 理 者	佐 藤 税
病 院 事 業 管 理 者		吉 原 秀 一	市 立 総 合 病 院 事 務 局 長	田 畑 素 保
消 防 長		虻 川 茂 樹	教 育 長	長 岐 公 二
教 育 次 長		若 松 健 寿	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長	佐 々 木 信 成
農 業 委 員 会 事 務 局 長		渡 辺 孝 義	監 査 委 員 事 務 局 長	松 山 真 樹 子

事務局職員出席者

事 務 局 長	乳 井 浩 吉	次 長	金 一 智
係 長	萬 田 文 英	主 査	大 高 尚 吾
主 査	古 川 涼	主 任	阿 部 孔 達

午前10時05分 開 会

- 議長（藤原 明） これより、令和7年大館市議会6月定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、配付文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（藤原 明） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員には、6番 伊藤毅議員、7番 秋元貞一議員、8番 佐々木公
司議員を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（藤原 明） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から6月19日までの18日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 議長（藤原 明） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から18日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、配付しております日程表のとおりでありますから、
さよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案の上程

- 議長（藤原 明） 日程第3、議案の上程を行います。
報第2号から同第8号まで、及び議案第63号から同第79号まで、並びに本日送付がありました
報第9号及び同第10号の以上26件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔石田健佑市長 登壇〕

- 市長（石田健佑） 6月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、3月定例会以後
の主な事項について概要を御報告申し上げます。

1、**本庁舎駐車場の完成について**。市役所本庁舎の西側に来客用駐車場が完成し、4月1日
から供用を開始いたしました。思いやり駐車場・車椅子利用者駐車場を含め109台分の駐車ス

ペースを設けており、一般路線バスや大館能代空港リムジンバスの停留所付近には待合所を設置しております。また来客用駐車場の完成に伴い、東側駐車場は公用車の専用駐車場としております。平成27年に着手した本庁舎建設事業は、令和3年5月の新庁舎の開庁を経て本駐車場の完成をもちまして全て完了いたしました。これまで御支援と御協力をいただきました関係各位、そして市民の皆様、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。供用開始前日の3月31日には、寄附金を活用して設置した秋田犬の銅像及び屋外時計の除幕式を執り行いました。御寄附いただいた関係者の皆様や城南保育園の園児たちと一緒に除幕した後、記念のバルーンリリースを行い完成を祝いました。オープン以降来庁者をはじめ桂城公園や周辺の石田ローズガーデン、桜櫓館を訪れる方のほか、桜まつりや秋田犬本部展などのイベント時にも多くの皆様に広く御利用いただいております。引き続き周辺のにぎわい創出にも寄与するよう活用してまいります。

2、エフエム秋田との防災協定の締結について。災害時の情報伝達体制の強化を図るため、3月18日に株式会社エフエム秋田と災害時における放送要請に関する協定を締結しました。この協定は、市内で災害が発生し、または発生するおそれがある場合、市からの緊急情報をエフエム秋田のラジオ放送に割り込んで優先的に放送することで、災害による被害の発生予防と軽減を図ることを目的としております。今回の締結で本市の防災協定は42例目となりました。また、協定の締結に先立ち、2月上旬から80歳以上の独り暮らしの世帯などに対し、国や市からの緊急情報を即時に受信できる緊急告知FMラジオを無償貸与しております。これはエフエム秋田が発信する電波の起動信号により自動的にラジオの電源が入り、確実な情報伝達を可能とするもので、4月1日から運用を開始しております。近年の災害は大規模化しており、市民に情報を迅速かつ確実に伝えるためには、多様な伝達手段の構築が必要であり、今回の協定締結は、市民の安心と安全確保の一助となるものと捉えております。

3、令和6年度のふるさと納税の状況について。令和6年度の寄附件数は48,201件、寄附額は10億416万円となり、昨年度比で約9,100万円下回っております。これは返礼品の主力品目である米について、全国的な品薄感が広がる中で価格高騰の影響により在庫を十分に確保できず、安定して供給できなかったことが要因と捉えております。一方、例年寄附が減少する1月から3月までの期間に、返礼品の米を確保できたことから、この3か月間で平年の約1.5倍に当たる1億7,600万円の寄附があり、2年連続での年間寄附額10億円達成に大きく寄与したところです。このほか返礼品を提供いただく事業者の新規参入の促進や新たなふるさと納税サイトとして、3月末からアマゾンふるさと納税を加えるなど、寄附拡大に向けた取組を進めております。また、企業版ふるさと納税では本市が取り組む様々な事業に賛同する企業から多くの寄附をいただいております。今年度はさらなる寄附拡大に向けて、新たなふるさと納税サイトの追加の検討や、米の安定した供給量の確保に取り組むとともに、返礼品の磨き上げや、新商品の開発等への支援を継続し、地域の活性化につなげてまいります。

4、令和6年度の決算見込みについて。主な会計について御報告申し上げます。まず一般会計の決算状況につきましては、歳入総額442億2,500万円、歳出総額426億1,700万円で、歳入歳出差引額は16億800万円と見込んでおり、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、15億1,900万円となる見込みであります。主な事業成果としては、新庁舎建設事業の外構整備工事が完了したほか、道路施設等の維持コスト削減を目的として試行導入していた包括的民間委託の本格実施や斎場建設事業、インランドデポ推進事業、歴史まちづくり事業などを計画的に実施しております。次に各企業会計の収益的収支の決算状況につきましては、水道事業会計では1億800万円、工業用水道事業会計では600万円の単年度純利益を、下水道事業会計では2億5,900万円の単年度純損失を見込んでおります。病院事業会計では、総合病院で9億7,900万円、扇田病院で2億7,800万円の単年度純損失を見込んでいるところであります。

5、大館市・鹿角広域行政組合ブロックごみ処理適正化協議会の設立について。本市及び周辺地域における安定的かつ効率的な廃棄物処理体制の在り方を検討するため、鹿角市及び小坂町との間で協議会を設立する運びとなり、5月23日に覚書を取り交わしました。これまで、県が令和3年9月に策定した秋田県ごみ処理広域化・集約化計画に基づき、ごみの広域処理の可能性について3者で検討を進めておりましたが、急速に進む人口減少の中にあつて、将来的に現状のごみ処理体制の維持が難しいと予想されることから、各副市長、副町長を構成員とした本協議会において、より踏み込んだ協議を行ってまいります。今後はごみ処理の広域化・集約化の方式や費用負担、ごみの分別区分、収集運搬の方法、災害時の対応などについて協議を進め、今年度末までに一定の方向性を示したいと考えております。

6、物価高騰対策事業について。物価高騰の影響を受けやすい低所得世帯を支援する給付金については、令和6年度分の住民税非課税世帯8,650世帯に対し、1世帯当たり3万円に加え、灯油購入費緊急助成分6,000円を支給しました。さらに児童1人当たり2万円を加算し、421人分を上乗せして支給しております。障害者支援施設や介護福祉施設、保育園等に対する食材料費及び光熱水費等への支援については、該当する事業所に総額で8,281万4,146円を支給しました。昨年実施した定額減税に伴う調整給付金の不足額給付については、8月からの支給開始に向けて準備を進めているところであり、本定例会に関連予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

7、おおだて住まいサポートキックオフイベントについて。収入が少ない方や被災された方、高齢者、障害を持つ方などに対する賃貸住宅の情報提供や円滑な入居のサポートを目的として、建築士会や不動産関係者、福祉関係機関などで構成する大館市居住支援協議会、おおだて住まいサポートを2月に設立しました。この取組を広く周知するため、住まいと暮らしを支える仕組みづくりについて考えるキックオフイベントを3月28日に開催したところです。当日は、居住支援政策を専門とする日本大学の白川泰之教授に登壇いただき、昨年改正された住宅セーフティネット法に触れながら、入居希望者が安心して暮らすための支援や貸主側の不安感を取り

除くことの重要性について御講演いただきました。引き続き住まいに関する困り事を抱える方からの相談や入居へ向けた支援について、関係団体と連携しながら取り組み市民の健やかな暮らしと住みやすい地域づくりへ注力してまいります。

8、**農作物の生育状況について**。主要園芸作物である枝豆については、例年並みの4月下旬から播種が始まったものの、降雨の影響により作業に遅れが生じました。アスパラガスや果樹については平年並みであったものの、一部の圃場では生育の遅れが見られました。基幹作物の水稲については、田植は例年どおり5月上旬から始まりましたが、耕起や代かきが3日から4日程度遅くなったため、終期が6月上旬にずれ込んでおります。昨年は7月中旬から下旬にかけての長雨により枝豆をはじめ多くの農作物が影響を受けたことから、気象状況を注視しながらJA等の関係機関と連携し、農作物の管理を徹底するよう促してまいります。大館市農業再生協議会を通じた経営所得安定対策については、昨年度390人の農業者に対し、水田活用の直接支払交付金や畑作物の直接支払交付金約6億7,000万円を交付いたしました。本年度の申請期限は6月9日となっており、期限までの申請を呼びかけてまいります。また令和6年における本市の主食用米の作付面積は3,396ヘクタールであり、生産の目安から換算した面積3,924ヘクタールに達していないことから、JAをはじめとした集出荷業者や関係機関を通じて主食用米の作付拡大を働きかけてまいります。

9、**スタートアップピッチについて**。3月25日御成座を会場にスタートアップピッチを開催しました。このイベントは多くの自治体が直面する社会課題の解決に向け、県内外のスタートアップ企業から、革新的なアイデアや技術に基づいた様々な取組や実証事業の提案をいただくもので、当日は傍聴者を含め約100人に御参加いただきました。今回のイベントでは、感情を可視化するデバイスを活用した婚活支援や鉄道沿線の空き家リノベーションによる一体的な観光地化、オンラインリハビリを通じた予防医療・予防介護を提案いただいた3者を公民連携のパートナー候補として選定し、今後実証事業の手法や持続性などを検証した上で、行政サービスへの展開に向けた検討を進めてまいります。また、今回選定に至らなかった事業者との連携や市内企業とスタートアップ企業との協力などの可能性を模索するなど、地域の活性化やスタートアップ企業の拠点誘致、雇用の創出にもつなげたいと考えております。

10、**雇用対策の状況について**。昨年10月に設立した大館市地域雇用活性化推進協議会では、求職者のスキルアップ研修や合同就職面接会を開催したほか、事業所の魅力向上セミナーを行い、3月までに16人の雇用につなげました。また、活jobおおだてでは昨年度1,108件の相談を受け、前年度比35人増となる191人の就職につなげております。さらに市独自の取組として、資格取得支援事業では、求職者24人、在職者158人、高校生及び秋田職業能力開発短期大学校生20人の合計202人のスキルアップを支援したほか、若者の市内定着を図る奨学金返還助成事業では、助成対象として新たに17人を認定し、これまでに154人の地元就職につなげております。高卒就職希望者については、今春卒業者の県内就職率は73%で5年連続で7割超えを

達成しておりますが、就職希望者数はこの5年で約50人減少しております。労働生産性の維持・拡大には、より多くの地元雇用の重要なことから、去る5月28日、地元商工団体に対し、未来を担う人材の確保・定着に向けた求人への早期提出と労働条件の向上などを要請してまいりました。引き続き関係機関と連携しながら地元企業の求人充足に努めていくとともに、若者の関心を引く産業や企業の誘致にも取り組んでまいります。

11、**大館能代空港の利用状況等について**。令和6年度の乗降客数は19万4,655人で前年度比で2万1,598人増加し、過去最高となりました。搭乗率は7.01ポイント増の58.04%となっております。これはインバウンドを含む観光需要の高まりに加え、ビジネスでの利用が堅調であること、市民向けの運賃助成事業が好調に推移していることなどが主な要因と捉えております。昨年12月から運行しているA I オンデマンド型乗合タクシー・大館エアポートライナーの利用者も徐々に増えてきているところです。また大館能代空港利用促進協議会では、昨年引き続き、大館能代空港ターミナルビルとの連携により、弘前さくらまつりの期間中、空港と弘前市をジャンボタクシーで結ぶシャトル便を運行したところ、昨年を上回る190人の利用がありました。今後も期間運行を予定していることから大館エアポートライナーと合わせ、二次交通の利便性などを広く情報発信しながら、さらなる利用促進を図ってまいります。このほか5月18日には、毎月8の付く日に空港でお出迎えをしている秋田犬2頭を大館能代空港長に任命したところであり、観光誘客に取り組むマスコットキャラクターとして活躍することを期待しております。

12、**忠犬ハチ公慰霊祭について**。4月8日渋谷区の忠犬ハチ公銅像前において開催された第90回忠犬ハチ公慰霊祭に参列し、忠犬ハチ公銅像維持会の星野会長、長谷部渋谷区長に並び、挨拶を述べさせていただきました。また5月8日には、秋田犬の里の忠犬ハチ公銅像前において第34回忠犬ハチ公慰霊祭が開催され、渋谷区から長谷部区長、丸山区議会議長のほか、東急グループや東京商工会議所渋谷支部、渋谷区観光協会など忠犬ハチ公銅像維持会関係者の皆様に御参列いただきました。長谷部区長からは今後の交流の深化への期待を込めた挨拶をいただき、改めて渋谷区との交流促進に取り組んでいくことを決意したところです。これまで育んできた渋谷区や東急グループをはじめとする民間企業との関係性を生かし、観光や文化、産業振興など地域の活性化につなげてまいります。

13、**第151回秋田犬保存会本部展について**。5月3日、桂城公園を会場に第151回秋田犬保存会本部展が開催されました。市役所本庁舎駐車場の完成や会場と秋田犬の里を結ぶシャトルバスの臨時運行、飲食・出店エリア拡大などの相乗効果により、約8,000人にお越しいただきました。またイベントに合わせて市役所本庁舎で実施した黄金の秋田犬像の特別展示には、約2,300人が訪れました。市議会や秋田犬保存会などの関係団体で組織する実行委員会形式での2回目の開催で、実行委員会特別顧問の鈴木知事からは大館市は秋田犬のふるさとであることに加え、きりたんぼ、比内地鶏、大館とんぶりの産地など食文化の宝庫。秋田の食や観光を楽

しんでほしいと御挨拶いただいたほか、前の実行委員長で、来賓の福原衆議院議員からは秋田が誇る秋田犬を、世界の友好の輪として盛り上げていきたいとのお言葉をいただきました。今後も、関係団体との連携を深めながら、多くの方々が秋田犬を通じて大館の魅力を知り、関係人口の拡大につながるよう努めてまいります。

14、**第73回山田敬藏記念ロードレース大会について**。4月27日に開催された大会に、全国から1,333人の参加申込みがありました。今年はランナーの安全対策を強化するため、ハチ公モバイルAED隊によるコースの巡回を実施いたしました。また、より多くの方にレースを楽しんでもらえるよう、小学生と保護者がペアで参加するファミリーペアの部を新設したところです。当日は満開の桜がランナーを楽しませたほか、レース後のきりたんぼ鍋の振る舞いも好評をいただきました。また、本大会には渋谷・表参道ウィメンズランから3人のランナーをお招きしたほか、同大会のレースディレクターであり、山田敬藏記念ロードレース大会との相互交流に御尽力いただいている渋谷区の伊藤毅志区議にも御参加いただいたところです。伊藤区議のお力添えにより、本大会の10キロメートル女子の部の完走者から選ばれた3人が、招待ランナーとして来年3月に渋谷区の表参道を走る予定となっております。大会の運営に御協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、今後もスポーツツーリズムの柱の一つとして、全国のランナーから選ばれる魅力的な大会となるよう、関係機関と連携を図りながら大会運営に取り組んでまいります。

15、**春のスポーツイベントについて**。(1)**ボッチャジャパンカップ2025**。4月5日、6日の両日、渋谷の東京体育館において開催された大会に、昨年11月のはちくんオープンを勝ち抜いた下川沿のチーム大館ハチ公1が本市代表として出場しました。大会ではグループリーグで対戦した日本代表火ノ玉JAPANのチームを破って決勝トーナメントに進む大金星を上げ、会場を沸かせました。大会には火ノ玉JAPANやタイ代表チームをはじめ48チームが参加し、障害の有無や年齢、性別に関係なく真剣に試合に臨み、また相手を尊重し交流を図る姿が見られ、ユニバーサルスポーツとしてのボッチャの魅力が再認識する大会となりました。

(2)**U-15大館市バスケットボールカップ2025**。3月29日から31日までの3日間、タクミアリーナを会場に開催され、本市から出場した大館東中学校のチームが準優勝の好成績を収めました。本大会は、スポーツと教育を通じて社会貢献ができる人材育成を目指す株式会社GXAの主催で行われ、試合後のチームインタビューなど、トップリーグさながらの大会運営は選手にとって貴重な経験となりました。また、市内スポーツ少年団が元プロバスケットボール選手による技術指導を受ける機会もあり、選手だけでなく広く市民が交流するにぎやかな大会となりました。なお、1都6県の男子16チーム400人の選手が本市に集まった今大会の経済波及効果は、宿泊を含め約4,600万円と試算しております。今後も各種スポーツイベントの誘致を通じ、市内のスポーツ選手の技術の向上と交流人口の拡大、地域の活性化を図ってまいります。

16、**流域治水対策と水防力向上への取組みについて**。4月23日、東京・砂防会館で開催され

た令和7年度全国水防大会に、秋田県指定水防管理団体連合会の会長として出席いたしました。意見交換会では、本市の治水対策や水防力強化の取組として関係機関と連携した訓練により、地域の水防力向上を図っていることや国土交通省が推進する3D都市モデルオープン化プロジェクトPLATEAUを活用した氾濫シミュレーションを作成し、想定される被害を視覚的に伝えるなど、住民の防災意識の向上に努めていることを伝えてまいりました。今後も米代川流域の治水対策をより一層推進するため、国をはじめ、県や関係自治体との連携を強化し、米代川流域全体の特定都市河川の指定を目指すとともに、国が策定する国土強靱化実施中期計画に基づくインフラの整備などを進めながら、自助・共助による水防力向上に尽力してまいります。

17、**中学生の海外研修事業について**。3月22日から29日までの間、本市の中学2年生16人がニュージーランドでの海外研修に参加しました。この事業は大館の未来を担う広い視野と国際感覚を備えた人材の育成を目的に実施したもので、現地の学校での交流会ではマオリ族に伝わる伝統的なダンスや歌で盛大な歓迎を受けたほか、大館の紹介も行ってまいりました。また、地元農家の生活を体験するファームステイでは、ホストファミリーに温かく迎え入れていただきました。4月14日の報告会では、将来の可能性を広げることができた、国によって様々な違いはあるがそれぞれによさがあり、尊重されるべきものであることを実感したなどの声が聞かれました。日本とは異なる生活や文化を体験できたことは、これからの人生のプラスになり将来の選択肢が広がるものと考えております。今後も国際感覚を育むことに加え、地域社会との関わりを考える契機となるよう、子供たちの夢と希望を応援する各種研修事業を進めてまいります。

18、**令和7年度の診療体制について**。総合病院は、25診療科で4月現在の常勤医師は前年度から1人減の53人、研修医は2年次9人、1年次8人の合計17人となっております。扇田病院は今年度から1病棟とし、診療科も1減の2診療科となり、常勤医師数は前年度から1人減の5人体制で令和7年度の診療を開始しております。また、本市を含めた4者で昨年12月に設立した一般社団法人北鹿ヘルスケアネットは、4月1日付で県内では2例目となる地域医療連携推進法人の認定を受けました。限られた医療資源を有効活用するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでまいります。医療・介護の連携に加え、近隣地域から小児・妊産婦の入院を受け入れるなど、総合病院の広域的な役割は高まっており、圏域の中核医療機関として、引き続き質の高い医療の提供に努めてまいります。

続きまして、提出いたしました議案について主な内容を御説明申し上げます。

報第2号は、年度内の完成が見込めず翌年度への繰越しを御承認いただいた事業19件につきまして、総額13億3,811万1,199円を本年度に繰り越したことに係る令和6年度大館市一般会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第3号は、御成町南地区土地区画整理事業を繰り越したことに係る令和6年度大館市都市

計画事業特別会計繰越明許費繰越計算書であります。

報第4号は、浄水施設等整備事業及び老朽管更新事業の2件を繰り越したことに係る令和6年度大館市水道事業会計予算繰越計算書であります。

報第5号は、公共下水道事業につきまして、工事請負費等を繰り越したこと及び米代川流域下水道事業建設負担金につきまして、県の事業による工事の一部が年度内に終了せず、市の負担金を繰り越したことに係る令和6年度大館市下水道事業会計予算繰越計算書であります。

報第6号は、一般財団法人大館市文教振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について、**報第7号**は、株式会社県北環境保全センターの経営状況を説明する書類の提出についてであり、いずれも市が出資する法人の令和6年度の経営状況及び令和7年度の事業計画等について御報告申し上げるものであります。

報第8号は、放棄した債権の報告についてであります。

これは、大館市債権の管理に関する条例第6条第1項の規定に基づき、令和6年度に権利を放棄した市の債権について御報告申し上げるものであります。

議案第63号は、大館市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案、**議案第64号**は、大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であり、いずれも保育事業における基準を定めた内閣府令及び省令の一部が改正され、連携施設の確保に関する経過措置の期限が見直されたこと等から、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第65号は、大館市軽費老人ホームに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、県が定める軽費老人ホームの基準が改定され、生活費相当分及びサービスの提供に要する費用相当分の上限額が引き上げられたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第66号は、大館市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、秋田県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部が改正され、新型コロナウイルス感染症に係る傷病手当金の規定が削除されたことから、本市においても所要の措置を講じようとするものであります。

議案第67号は、大館市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案であります。

これは、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部が改正されたことに伴い、条例で引用している条項にずれが生ずることから、所要の措置を講じようとするものであります。

議案第68号は、大館市水道給水条例の一部を改正する条例案、**議案第69号**は、大館市小規模水道等給水条例の一部を改正する条例案であり、いずれも災害時等の非常時において水道設備の早期の復旧を図るため、給水装置工事事業者を広く確保できるよう所要の措置を講じようとする

するものであります。

議案第70号から議案第72号までの3件は、いずれも財産の取得についてであります。

議案第70号は、消防車両等に積載している車両運用管理システムで使用している通信回線が運用終了となることから、システムを更新しようとするもの、議案第71号及び議案第72号は、老朽化した救急自動車及び消防ポンプ自動車を更新しようとするものであります。これらの物品の購入については予定価格が2,000万円以上であることから、地方自治法及び本市条例の規定に基づき議会の議決をお願いするものであります。

議案第73号は市道路線の認定についてであります。

これは、大館市開発指導要綱に基づく開発行為に伴い築造された道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第74号は、令和7年度大館市一般会計補正予算（第1号）案であります。

今回の補正は、歳入歳出とも15億3,686万6,000円の追加で、補正後の予算総額は389億174万8,000円となる見込みであります。歳出の主な内容としましては、物価高騰対応生活支援給付金・定額減税補足給付金事業費や小中学校照明設備LED化事業費、秋田犬会館施設整備費補助金などを計上したほか、ふるさと応援寄附基金積立金、財政調整基金積立金などを追加したものであります。

また、第2条第2表に地方債の補正を御提案申し上げます。

議案第75号から議案第78号までの4件は、令和7年度大館市国民健康保険特別会計など各特別会計における補正予算案であります。

主な内容としましては、介護保険特別会計において、新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用し導入する介護認定審査会ペーパーレス会議システムに係る費用などを計上しようとするものであります。

議案第79号は、令和7年度大館市病院事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、総合病院と他院との職員相互派遣に係る経費等により、収入では132億5,788万2,000円、支出では137億4,750万9,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。補正後の予算総額は、収入では県補助金の増額により6億9,744万4,000円となり、支出では医療機器購入費の増額により10億6,030万9,000円となる見込みであります。

報第9号及び報第10号は、本日提出いたしました議案で、いずれも専決処分の報告についてであります。

報第9号は、本年4月9日に本庁舎北側駐車場において、設置していた看板が倒れ駐車中の軽乗用自動車を破損させた事故についての和解及び損害賠償であり、報第10号は、秋田犬の里において、秋田犬の展示練習の期間に係る謝礼金及び期間中に施設内で負傷した秋田犬の治療費の支払いを申し立てられた事案に係る調停の成立についてであります。これらにつきまして、

地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので御報告申し上げるものであります。

議案の概要につきましては以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（藤原 明） これより、ただいまの上程議案に対する質疑に入ります。
御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤原 明） なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長（藤原 明） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。
次の会議は、6月9日午前10時開議といたします。
本日は、これにて散会いたします。

午前10時49分 散 会
